

100
min.
NOVELLA

990円(税込)

新書サイズ

芥川賞受賞作家 待望の新作書下ろし!!

7/5 搬入 6/11 締切です



津村 記久子

1978年大阪市生まれ。「ポトスライムの舟」で芥川賞、『ワーカース・ダイジェスト』で織田作之助賞、『この世にたやすい仕事はない』で芸術選奨新人賞など、多数の文学賞を受賞。近著に「水車小屋のネネ」など。

「うどん陣営の受難」
控えめに言って、どっちもくそ。

四年ごとに開かれる会社の代表選挙。一回目の投票は票が散らばったため、上位二名による決選投票が行われることになった。現体制は手堅い保守層から支持を集め、二番手につく候補は吸収合併した会社のプロパー社員のリストラ等過激なスローガンを掲げる。接戦が予想される中、両陣営共に動向を伺うのは、一回目で三位につけた候補の支持者たちであった。運動員の送りこみ、ハラスメント手前の圧力、上司からの探り…。社内政治の面倒臭さをリアルにコミカルに描く。

予価：990円(税込) 判型：四六変型(174×112mm)
作り：並製(カバーなし) 頁数：104頁
装丁：森 敬太 装画：大河紀
ISBN：978-4-910207-83-4

一気に夢中になりました。
ただ一つだけ困るのがうどんが食べたくて仕方ないことです。——吉田彩乃様(岩瀬書店 富久山店)



高山 羽根子

1975年富山県生まれ。2010年「うどん キツネつきの」で第1回創元SF短編賞佳作を受賞し、デビュー。2020年「首里の馬」第163回芥川賞受賞。近著に「パレードのシステム」など。

「ドライブイン・真夜中」
必要最低限の幸福の程度。

移民は二通りの生き方を選択させられる。セイカツシャかヒョウゲンシャか。ある日、セイカツシャである主人公が勤めるドライブイン・レストランに刑事がやってきて「テロの予告があった」と知らされる。予告日はヒョウゲンシャの互助組織であるトモダチのパーティが開かれる日でもあった。突然世話することになったノラ犬、騒擾の予告、深夜の乱痴気騒ぎ、それぞれが絡み合い行きつく結末は？近未来の日本を舞台にしたディストピア小説。

予価：990円(税込) 判型：四六変型(174×112mm)
作り：並製(カバーなし) 頁数：148頁
装丁：森 敬太 装画：メリヤス・ミドリ
ISBN：978-4-910207-85-8

現代の移民問題を風刺したような物語。
自分の常識について、深く考えさせていただきました。
——宗岡敦子様(紀伊國屋書店 福岡本店)

新刊 7/7 発売 予定	番線印	『うどん陣営の受難』	冊	3冊以上の ご注文より サイン本を 承ります	冊
	新刊委託締切	『ドライブイン・真夜中』	冊		冊
	6/11	好評既刊 『観音様の環』	冊		冊
	条件：新刊委託	※締切後のご注文は注文扱いとなります	ご担当者名		様

注文受付 FAX 050-3538-3212 FAXの配信停止希望もお手数ですが左記をご利用ください。

お問い合わせはこちら ▶

Email: upub-marketing@unext.jp TEL: 070-3150-4802

U-NEXT